

佐野市景況レポート

平成27年10～12月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成27年10～12月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、201社(回答率69.3%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

景気は回復していないが前向きに

「景気とは何？」検索してみると、「経済活動全般の動向のこと。中世に和歌の批評における余情意識を表現する用語として、景色・雰囲気などの意味合いを込めて使われていた」そうで、言葉の意味の変遷を感じます。ただ、人の心理を表した言葉には変わりがないようです。政府や日銀は、アベノミックスの登場より景気は回復していると判断していますが、中小企業においては回復しているとは言えない状況です。一方、国外・県外に行くと、日本・佐野市の景気(景色・雰囲気)の良さを改めて感じます。

本年の初売りでは、インバウンド需要の堅調と三越伊勢丹ホールディングスの初売り1月3日変更が話題になりました。三越伊勢丹は、従業員の福利厚生のため、首都圏8店舗の初売りを1月2日から3日に変更しました。多くの百貨店が1月2日を初売りにしている中、売上の減少を覚悟してまで従業員の待遇改善をした目的は、「従業員にしっかり休んでもらうことが販売サービスの向上にもつながる」と判断したようです。業績の向上には質の高い接客、質の高い接客には社員の待遇改善が必要との戦略的判断をされたようです。年初にあたり、目先の損得だけでなく、自社の成長戦略を再検討されてみてはどうでしょうか。

さて、佐野市景況レポート(平成27年10～12月期)をみると、全業種業況DI指数は▲13.9、前期(9月期)比+5.9ポイントの業況改善となりました。利益DI指数は▲25.0(前期比+2.2)の僅かな改善、売上高DI指数は▲19.6(前期比+3.2)、販売価格DI指数は▲13.4(前期比▲5.4)、仕入価格DI指数は2.4(前期比▲9.0)、販売価格と仕入価格のDI指数前期比を比較すると、仕入価格の低下が販売価格の低下になったが、売上高は微増した推測します。

今後3ヶ月間(平成28年1～3月期見通し)を見ると、全業種業況DI指数は▲24.0(前期比▲10.3)と大幅な悪化を予想しています。予想売上高DI指数は▲20.6(前期比▲11.8)、予想仕入価格DI指数は4.3(前期比▲7.2)、販売価格DI指数は▲11.4(前期比▲3.5)と、前期に比べ、仕入価格は安定し販売価格も低下するが、売上高は大きく減少するとみています。

円安影響の調査結果(平成27年10～12月期)は、①大幅なプラス影響：1%(前期比+1%)、②若干のプラス影響：7%(前期比+1%)、③影響ない：61%(前期比+3%)、④若干のマイナス影響：26%(前期比▲3%)、⑤大幅なマイナス影響：5%(前期比▲2%)と、前回調査同様、影響ないと若干のマイナス影響で全体の87%を占める結果となりました。

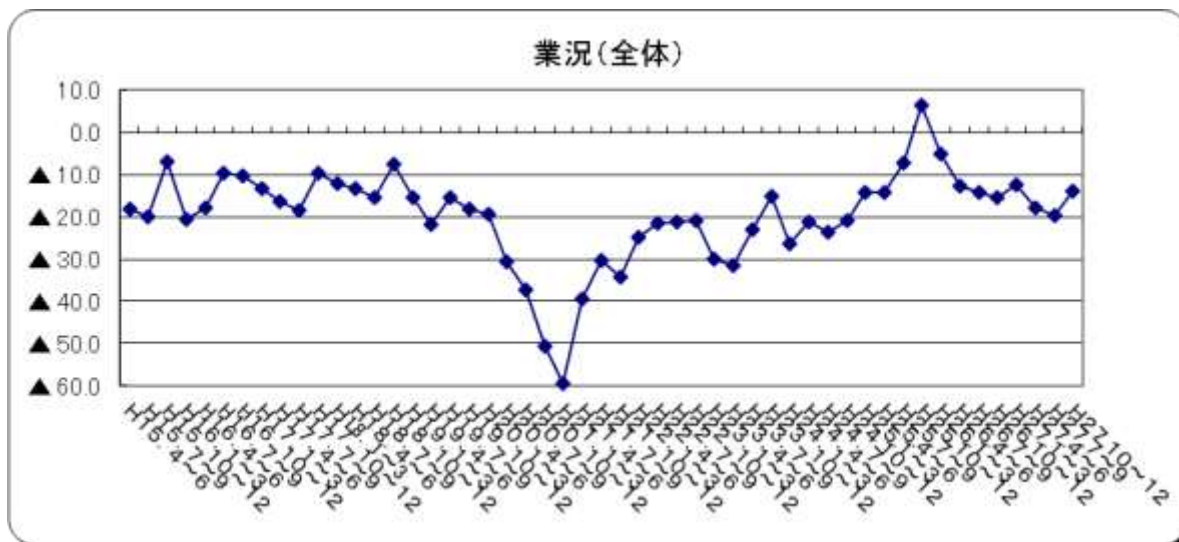
また、景況に関する各事業所のコメントをみると、景気期待に比べ不安に関するコメントが多くなります。特に、消費増税による景気悪化を不安視しているようです。

☆ 業況について（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲13.9、前期比 5.9 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業及びサービス業 5.7 ポイント、③建設業及び卸売業 0.0 ポイント、
- ⑤小売業（飲・食料品）▲8.1 ポイント

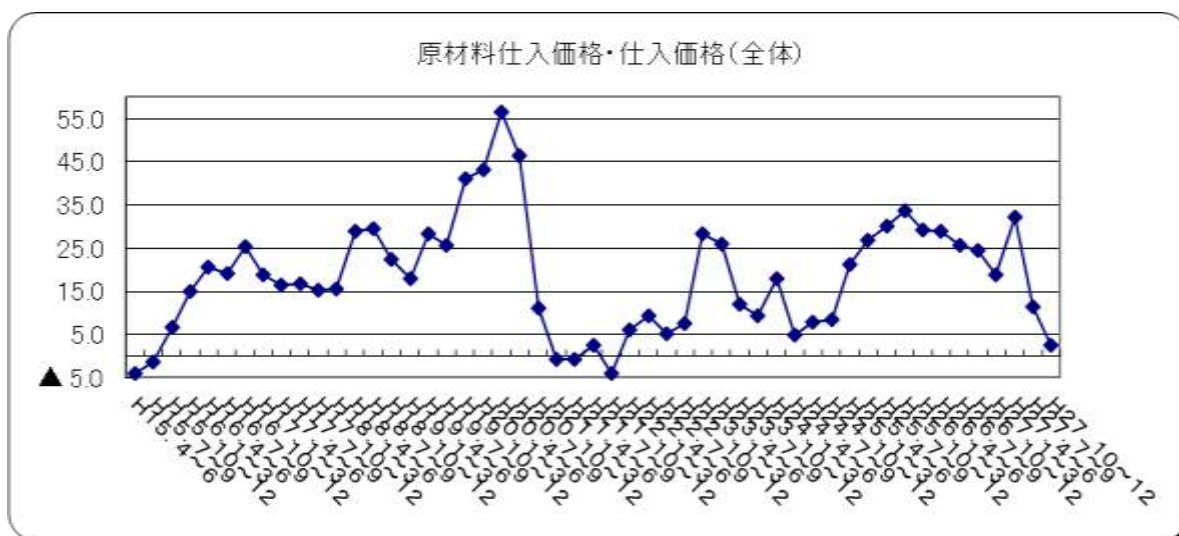


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 2.4、前期比 9.0 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 22.2 ポイント、②建設業 22.0 ポイント、③繊維品製造業 12.0 ポイント、
- ④飲食店 11.1 ポイント、⑤サービス業 10.7 ポイント

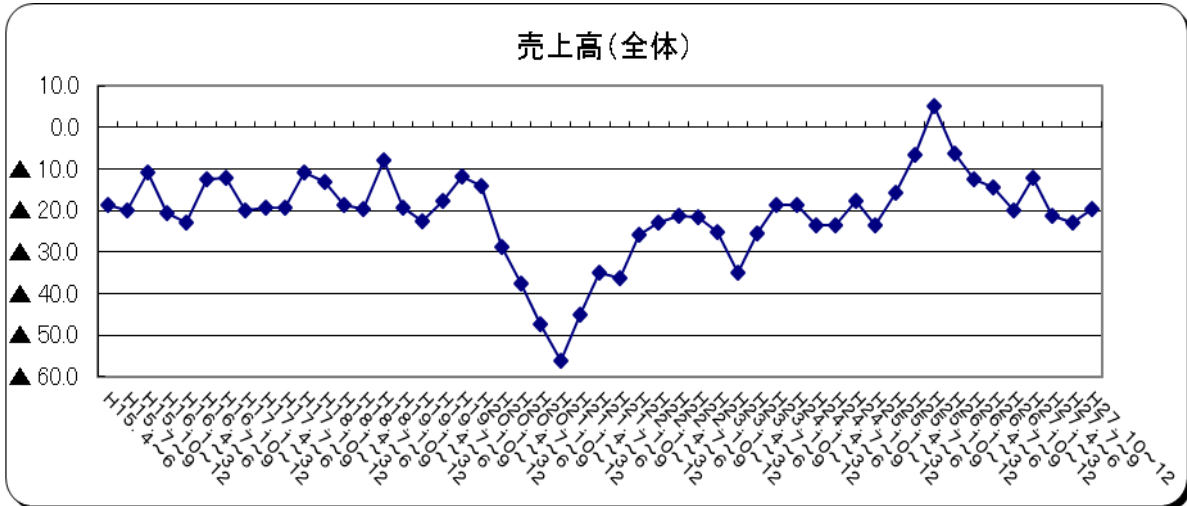


☆ 売上高について（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲19.6、前期比 3.2 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 12.0 ポイント、②卸売業及び小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、
- ④その他の製造業▲12.0 ポイント、⑤機械・金属製造業▲17.2 ポイント

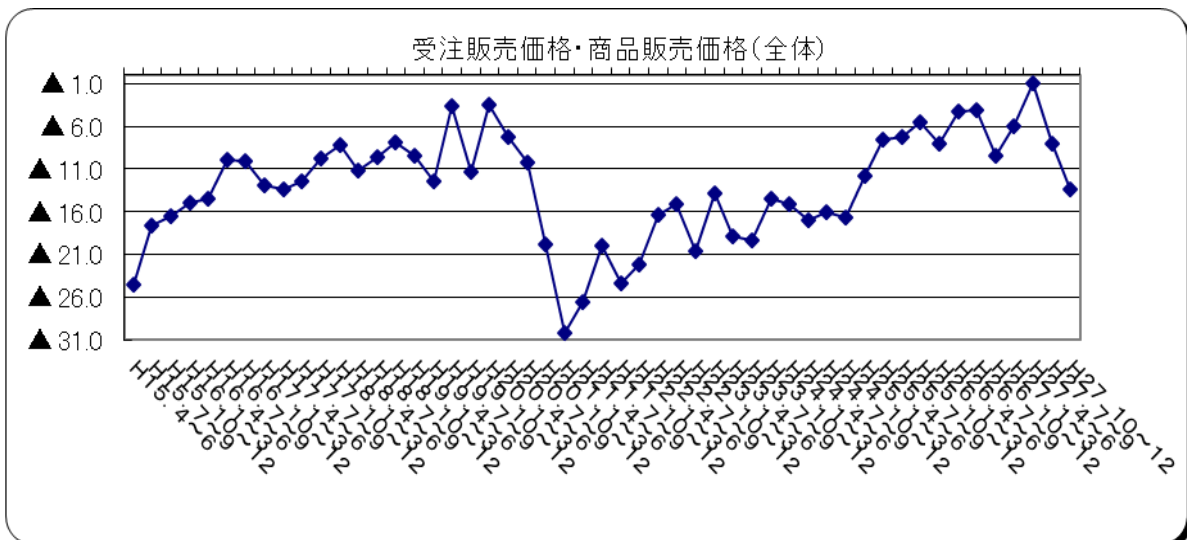


☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲13.4、前期比 5.4 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①繊維品製造業及びその他の製造業 0.0 ポイント、③小売業（飲・食料品）
- ▲7.0 ポイント、④卸売業▲9.7 ポイント、⑤飲食店▲11.1 ポイント

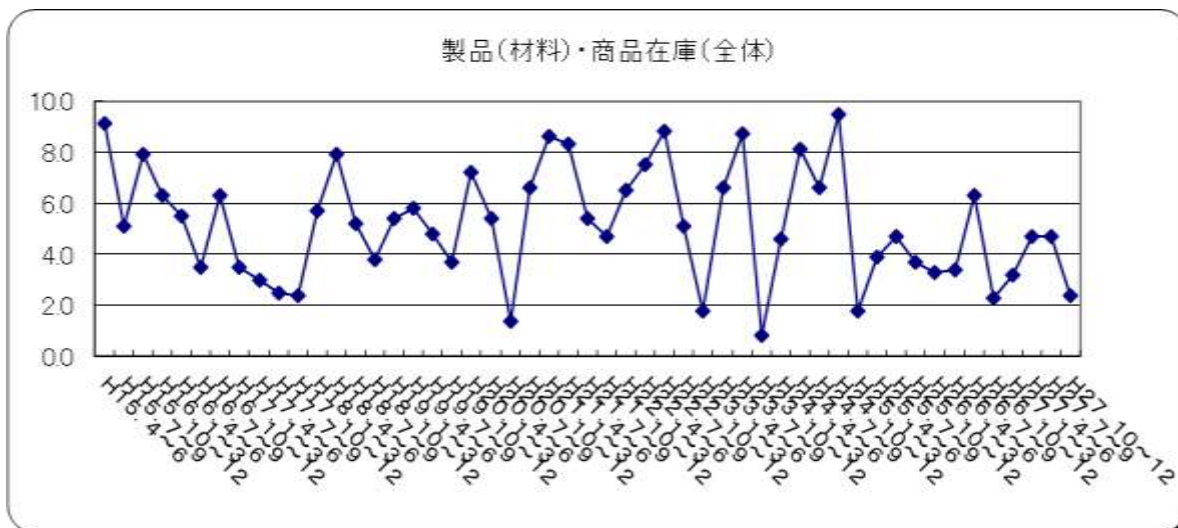


☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 2.4、前期比 2.3 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品）14.3 ポイント、②機械・金属製造業 12.5 ポイント、③その他の小売業（大型店含む）及び飲食店 0.0 ポイント、⑤食品製造業 5.5 ポイント

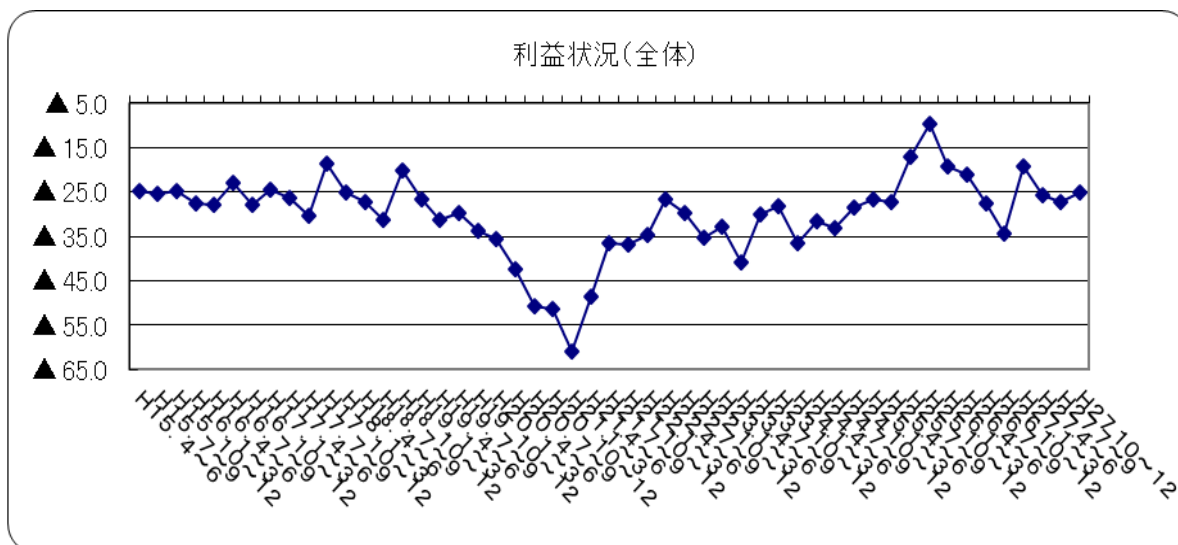


☆ 利益状況について（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲25.0、前期比 2.2 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①サービス業 34.6 ポイント、②食品製造業 0.0 ポイント、③その他の小売業（大型店含む）▲17.6 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲18.2 ポイント、⑤繊維品製造業▲18.4 ポイント

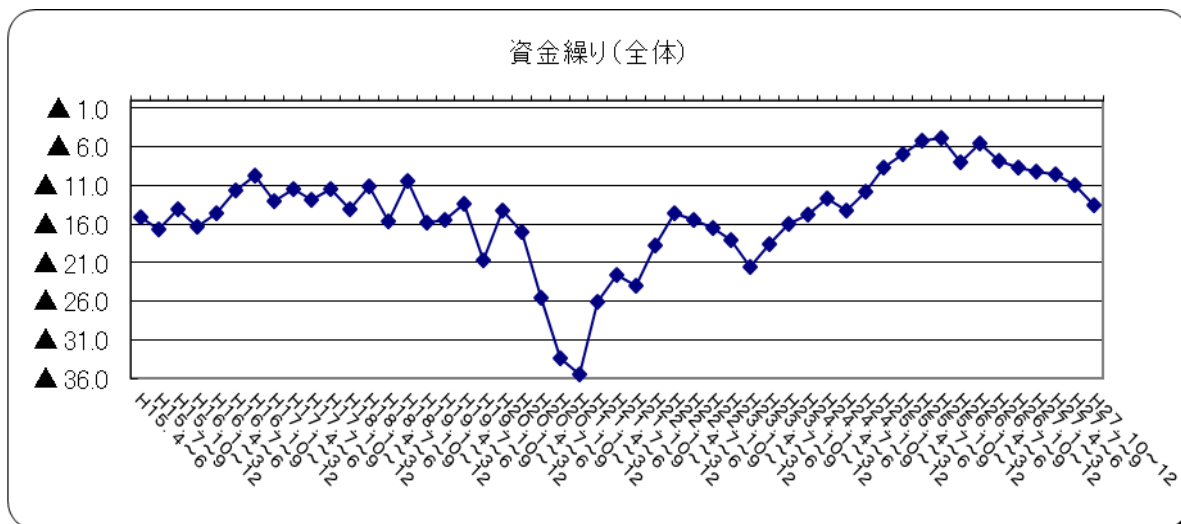


☆ 資金繰りについて（平成 27 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲13.6、前期比 2.6 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業 9.7 ポイント、②食品製造業及び化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント、
④建設業▲7.0 ポイント、⑤サービス業▲11.1 ポイント

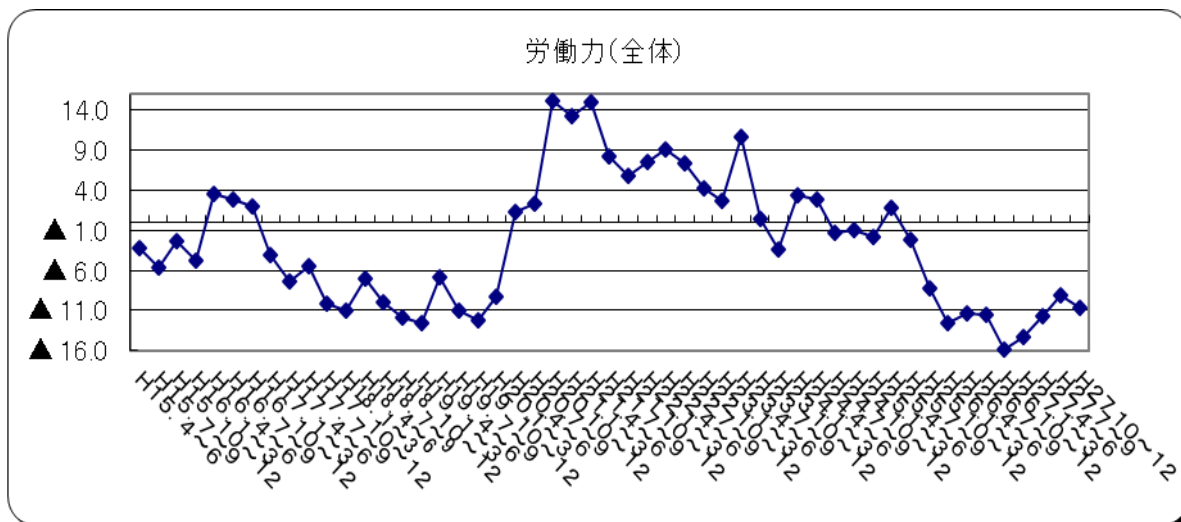


☆ 労働力について（平成 27 年 10 月～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲10.6、前期比 1.5 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラスチック製造業 4.1 ポイント、②小売業（飲・食料品）及び飲食店
0.0 ポイント、④繊維品製造業▲5.9 ポイント、⑤機械・金属製造業▲6.5 ポイント



☆ 設備稼働率について（平成 27 年 10～12 月期実績）
（建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲9.9、前期比 2.3 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業及びその他の製造業 0.0 ポイント、③建設業▲7.3 ポイント、
- ④設備業▲11.1 ポイント、⑤繊維品製造業▲12.5 ポイント

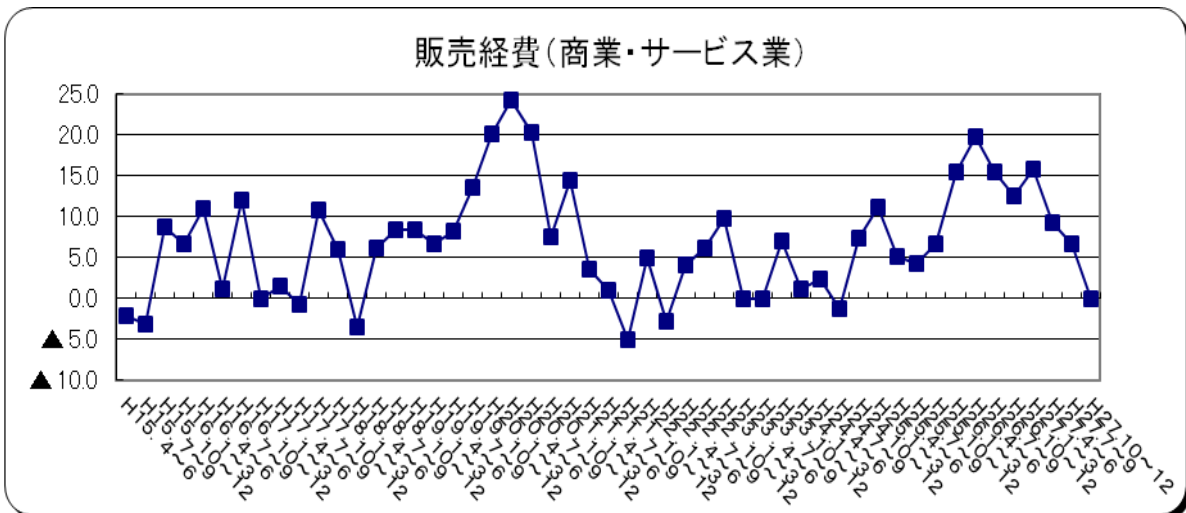


☆ 販売経費について（平成 27 年 10～12 月期実績）（商業・サービス業関係）

全業種 DI 指数 0.0、前期比 6.7 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品）30.0 ポイント、②卸売業 9.7 ポイント、③飲食店 0.0 ポイント、④その他の小売業（大型店含む）▲5.7 ポイント、⑤サービス業▲22.2 ポイント

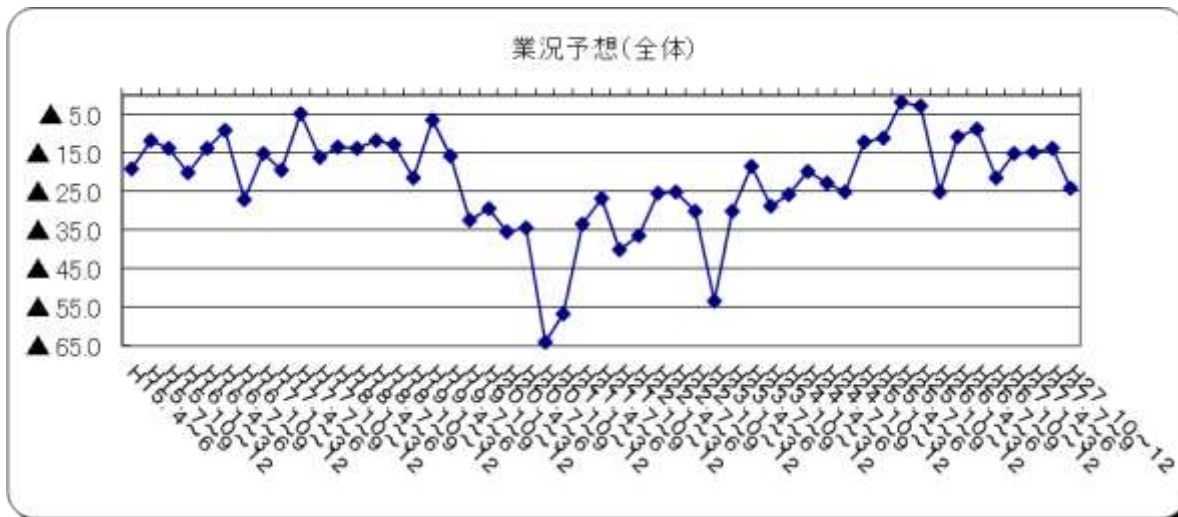


☆ 今後3ヶ月先（平成28年1～3月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲24.0、前期比10.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 12.0ポイント、②繊維品製造業 6.4ポイント、③卸売業 0.0ポイント、④食品製造業▲11.5ポイント、⑤飲食店▲12.5ポイント

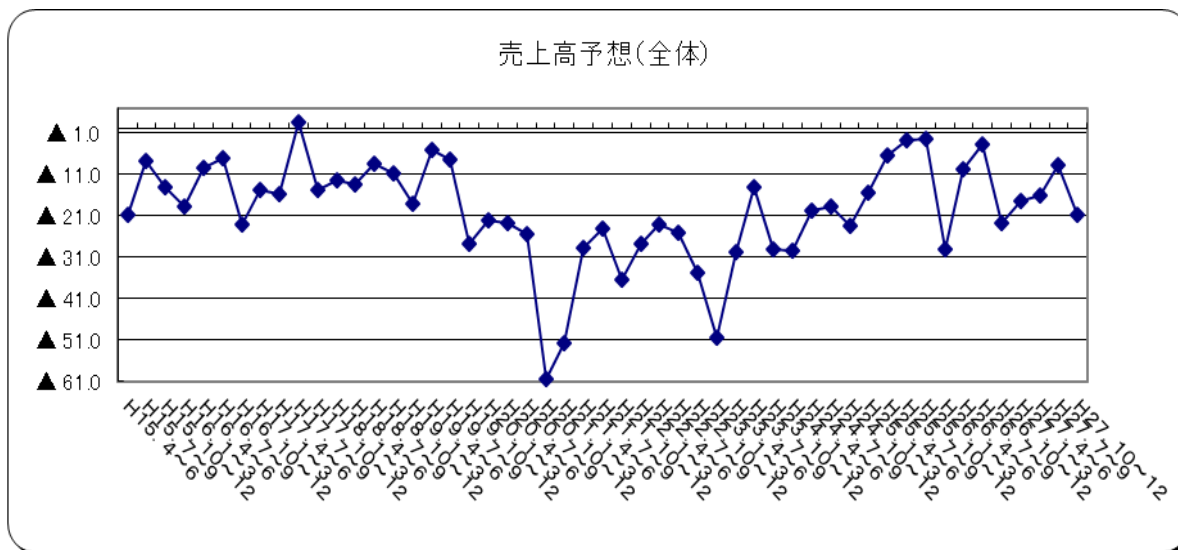


☆ 今後3ヶ月先（平成28年1～3月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲20.6、前期比11.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 12.0ポイント、②繊維品製造業 6.4ポイント、③食品製造業 0.0ポイント、④卸売業▲10.3ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲13.8ポイント

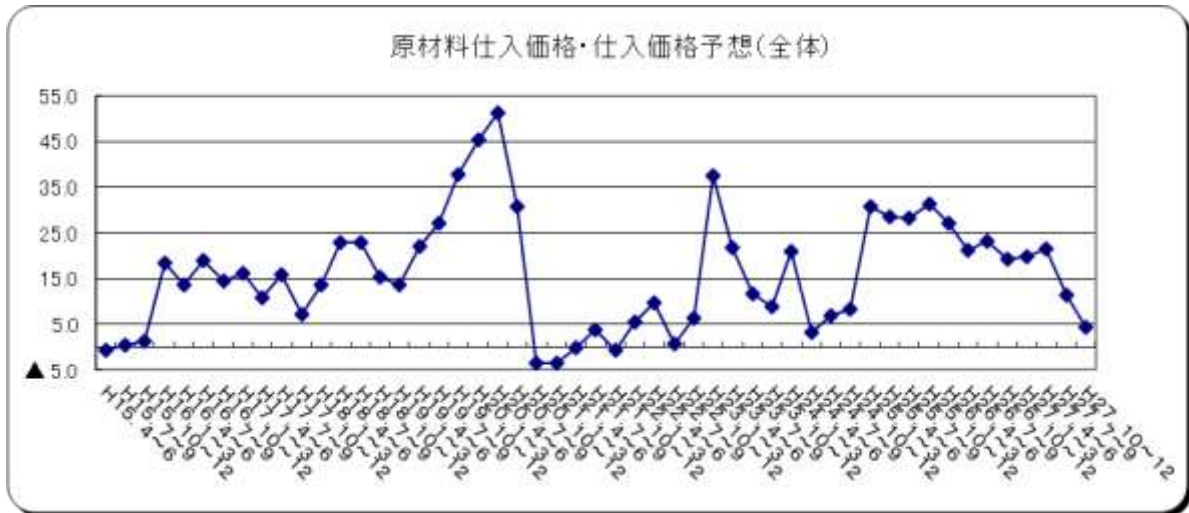


☆ 今後3ヶ月先（平成28年1~3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数 4.3、前期比 7.2ポイント減少

業種別DI指数（上位5業種）

①飲食店 24.0ポイント、②小売業（飲・食料品） 22.0ポイント、③繊維品製造業 18.4ポイント、④その他の製造業 11.0ポイント、⑤食品製造業 10.7ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成28年1~3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲11.4、前期比 3.5ポイント減少

業種別DI指数（上位5業種）

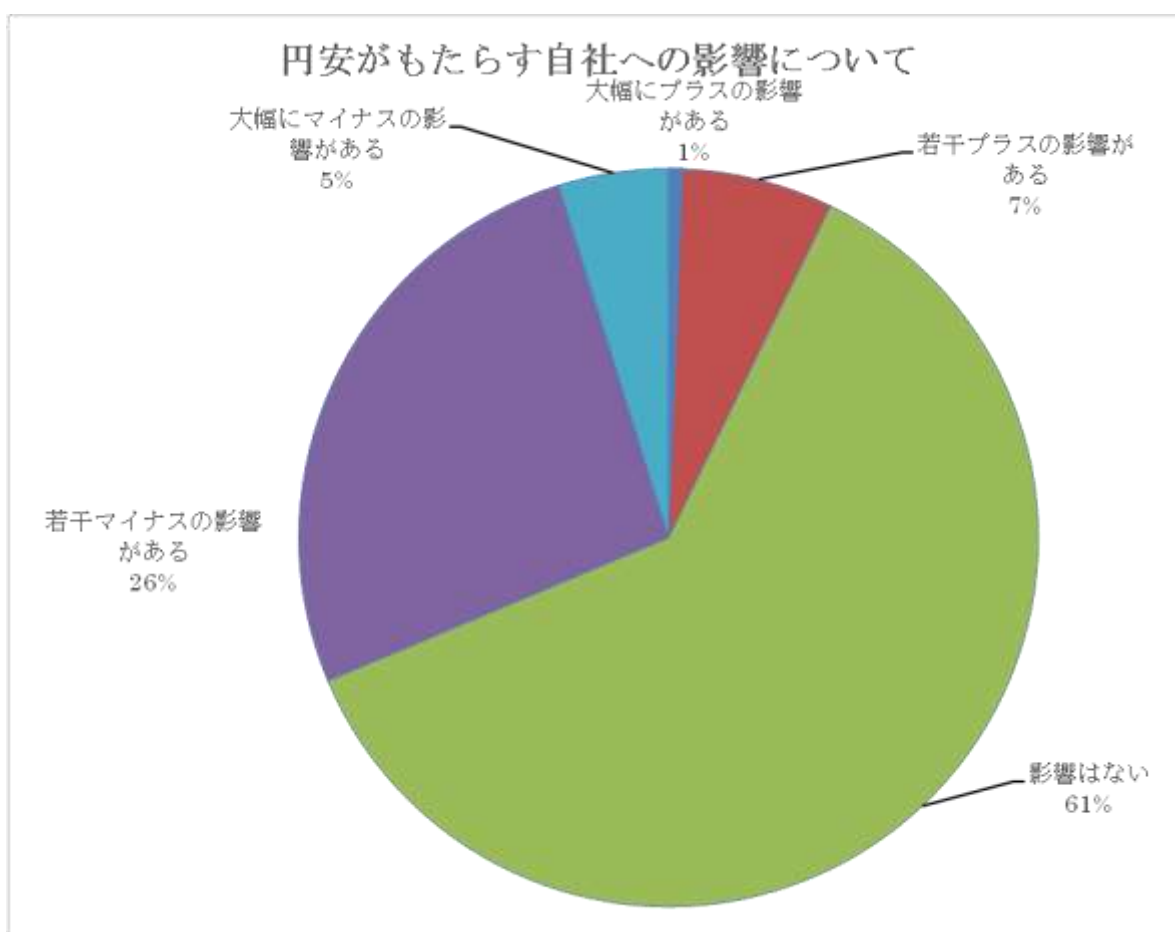
①小売業（飲・食料品） 14.3ポイント、②飲食店▲5.5ポイント、③繊維品製造業▲5.9ポイント、④建設業▲7.3ポイント、⑤サービス業▲10.3ポイント



☆ 昨今の為替（円安）がもたらす自社への影響（売上・収益・経費等）について

為替（円安）がもたらす 自社への影響について	平成 26 年 10-12 月期		平成 27 年 1-3 月期	
	構成比（%）	評価ポイント	構成比（%）	評価ポイント
①大幅にプラスの影響がある（+2P）	12%	24	0%	0
②若干プラスの影響がある（+1P）	7%	7	6%	6
③影響はない（0）	32%	0	49%	0
④若干マイナスの影響がある（▲1P）	38%	▲38	34%	▲34
⑤大幅にマイナスの影響がある（▲2P）	11%	▲22	11%	▲22
合計	100%	▲29	100%	▲50

平成 27 年 4-6 月期		平成 27 年 7-9 月期		平成 27 年 10-12 月期	
構成比（%）	評価ポイント	構成比（%）	評価ポイント	構成比（%）	評価ポイント
12%	24	0%	0	1%	2
8%	8	6%	6	7%	7
34%	0	58%	0	61%	0
34%	▲34	29%	▲29	26%	▲26
12%	▲24	7%	▲14	5%	▲10
100%	▲26	100%	▲37	100%	▲27



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・消費税10%は経済にブレーキを絶対にかけてと思う。
- ・佐野管内の公共建設工事は昨年発注の半分以下。
- ・消費税10%にする事をやめて欲しい。景気が悪くなる事必至と思う。国の会計決算をバランスシートにて発表して欲しい。負債ばかり強調されているのがおかしい！

設備工事業

- ・コメントなし。

繊維品製造業

- ・コメントなし。

食品製造業

- ・景気が良いのは大手さんだけでは？
- ・2016年を迎えるにあたり、しっかり目標を定め志を高く持ち明るい未来にするべく精進していく所存です。一步一步でもしっかり前に確実に進んでおります。「感じて動く」感動を皆様と共有出来ればと思います。
- ・人件費は増加となっているものの人材確保に多大な労力を要しております。また更なる税率のアップと景況に対してマイナス要因しか浮かびません。
- ・売上、利益ともほぼ横ばいの状況で推移しています。

機械・金属製品製造業

- ・来年の見通しが出来ません。
- ・現況が常態と思っている。先々に対し過剰に期待せず現市況を大事にしたい。東京中心の建築需要は多いがそれ以外良い材料は見当たらない。
- ・アベノミクスで景気が良くなるとは思えない現状です。理想論ばかりのアベさんには、うんざりです。庶民の味方の政治家さんにお目にかかりたいものです。
- ・28年の見通しがくらい。みえない。
- ・震災復興、首都圏インフラ整備は落ち着いたがダンプ車以外の製品の引合いが続いています。
- ・若干ですが落ち着いてきた感があります。
- ・景気の減速は更に進むと予想され厳しい状況が続くと思われる。
- ・10月～12月は前期（7～9月）と比較し増となりましたが、昨年同期比ではマイナスです。また、今後三ヶ月の売上予定は10～12月と比較し92%程度に下落します。当然のことですが収益も大幅減となります。
- ・回答がわからないものもあるのでわからないというワクもつくってもらいたい。

化学・プラスチック製品製造業

- ・販売先である食品業界は、野菜市場が天候に左右されるが比較的安定といえる。容器生

産に使用されるプラスチックは原油価格下げの影響で原料は今後も比較的低い水準で推移すると考えられる。

- ・回答は期待込みで記入しました。
- ・注文が小ロット多く材料のロスが多いため利益が出なくなっています。
- ・原油安にてプラスチック原料の一部に値下げの動きあり。

その他の製造業

- ・材料は輸入が多く円安は利益に直接影響する。仕事の量は季節的な理由で需要期に当たり増えると思うが仕入・人件費も増える。

卸売業

- ・昨今の売上げの減少は異常な程である。

小売業（飲・食料品）

- ・10月下旬からの12月上旬まで何故か来客数、売上げ共に減少しびっくりです。市役所駅前に戻りその効果に期待しております。
- ・例年同様年末に向けて仕入価格が上昇している。売上げはマイナスが続いて、とてもきつい状況です。
- ・世間的に景気が上がっているとは思えない。たとえ上がっていたとしても、流通構造が変わってしまった業界はあまり関係ない。
- ・この頃不景気のように業界は悪いようです。11月はイベントがあり何とか売上げはよいが、原材料は高値で止っており商品には反映できない。
- ・設備が古くなって改修や新品と交換したいのだが売上げ伸びず原価が高くなっているのが無理。

その他の小売業（大型店含む）

- ・いつまで低迷が続くのか？ここら辺で線を引きたい。さらに10%の消費税となると、どうなるのか？
- ・今年も暖冬季節感が薄れ生活スタイルも大きく変化、どうしたらいいのか。
- ・寒暖の日が続き体調をこわす方々が多く見られます。政府の医療費削減方針により医療業界全体は今後冬の時代に向かう事と思う。
- ・不景気になれてしまっていて、コメントがありません。
- ・専門店での顧客の利用減少。

飲食店

- ・円安が影響してか？食材の高値が止まりません。海産物の値上がりはスゴイ。
- ・10月後半から11月にかけて、前年度に比べて大幅な売上げの落ち込みがありました。そのマイナスが尾を引いているようです。

サービス業

- ・生徒が少なく厳しい状況です。
- ・前期に続いて仕入が難しい状況です。販売価格の下落が続く経費もかけられない中で、色々なルートから、また手がたく営業を心掛けます。
- ・建設会社は建売用地を造成しても東京の大手の業者が来て建売りの建物を作り、売り出している。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成27年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$\text{D I 方式は、} \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

